

メキシコ – 米大統領選を受けてペソは最安値更新 –

<米大統領選はトランプ氏が勝利>

11月8日（現地時間）に行われた米大統領選で、メキシコに対して過激な発言を続けてきた共和党候補トランプ氏が勝利しました。

これを受けてメキシコペソは急落し、日本時間9日14時ごろには一時1米ドル＝20.80メキシコペソと対米ドルでの最安値を更新しました。

その後は少し戻したものの、9日の海外終値は1米ドル＝19.76メキシコペソ、1メキシコペソ＝5.3164円と前日比で大きく下落しています。

<緊急会見を開催>

トランプ氏の米大統領選勝利を受けてメキシコのミード財務公債相とメキシコ中央銀行のカルステンズ総裁は現地時間9日の午前7時から緊急会見を開催しました。会見では国民や市場関係者に冷静さを保つように呼びかけるとともに、必要な時は措置をとる姿勢を示しています。

<今後の見通し>

米大統領選に勝利したトランプ氏はメキシコの経済成長の要因ともなったNAFTA（北米自由貿易協定）の見直しを公約に掲げており、今後のメキシコ経済への影響が懸念されます。ただ、トランプ氏による政策運営には不透明感が強いものの、上下両院で共和党が過半数を獲得した議会によりある程度コントロールされ、過激な政策がすぐに実行される可能性は低いと見込まれます。

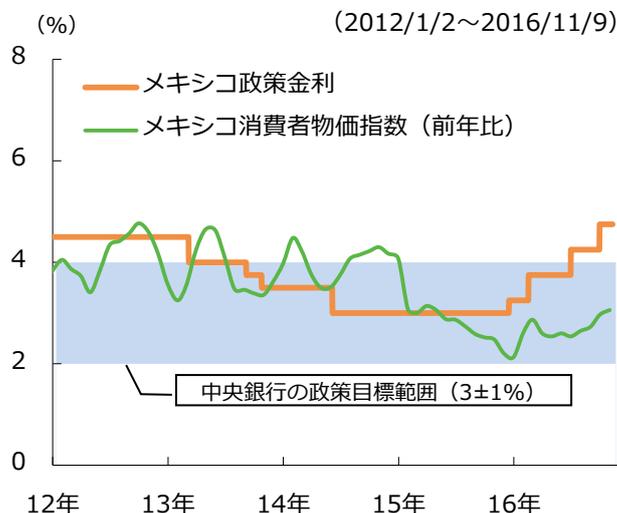
17日に予定されている金融政策決定会合では、市場動向に応じて追加利上げや為替介入などの対応策が検討されると思われます。

当面はトランプ氏の勝利に対する懸念からメキシコペソは不安定な動きが続くと見られますが、同氏の政策運営に対する不透明な部分が徐々に明らかになるにつれて過度な懸念が後退していくとみられることや、中銀や政府の強固な対応姿勢がメキシコペソをサポートする要因になると考えられます。

<メキシコペソ為替の推移>



<インフレ指標と政策金利の推移>



*政策金利は発表日ベース

*消費者物価指数（前年比）は2012年1月～2016年10月

出所：Bloomberg